

●もっと運動やスポーツをするようになるには…

運動やスポーツが好きではなく、運動習慣の形成もあまりできていない児童に、「もっと運動やスポーツをするようになるにはどんなことがあればよいか」と聞いたところ、「好き・できそうな種目があれば」、「友達と一緒にできたら」、「自由に使える場所があれば」、「自分のペースで運動やスポーツができたら」という回答が多かった。児童の運動機会を増やすには、体育の授業等において、簡易化した運動やスポーツを取り上げて日常的に取り組みやすくしたり、誰でも楽しめそうな運動やスポーツを新たに紹介したりすることが有効であると考えられる。また、一緒に運動やスポーツをする仲間を組織することや、活動場所を確保することについても、教員が適宜支援することが重要であると考えられる。

一方、運動やスポーツが好きで、よくする児童があげたもっと運動やスポーツをするようになる条件で特徴的にみられたのは、「有名選手に教えてもらえたら」であった。より高い技術の習得への関心を満たす等の指導が効果的だと考えられる。

「好き・できそうな種目があれば」
「友達と一緒にできたら」
「自由に使える場所があれば」
「自分のペースで運動ができたら」

授業改善の視点

- 簡易化した運動やスポーツを取り上げて日常的に取り組みやすくする
- 誰でも楽しめそうな運動やスポーツを新たに紹介する
- 一緒に運動やスポーツをする仲間を組織する
- 活動場所を確保する

●運動やスポーツの「得意・苦手」、「好き・嫌い」の変化から

運動やスポーツが得意だと思う（思っていた）かどうかについて、入学前、小学1・2年時、小学5年（現在）の変化をみると、入学前から現在まで、ずっと得意だと思っている児童が最も多く、男子では64.5%、女子では51.7%だった。一方で、男子の8.7%、女子の14.9%の児童は、入学前から現在まで、運動やスポーツがずっと苦手だと感じたまま5年生になっていたこともわかった。

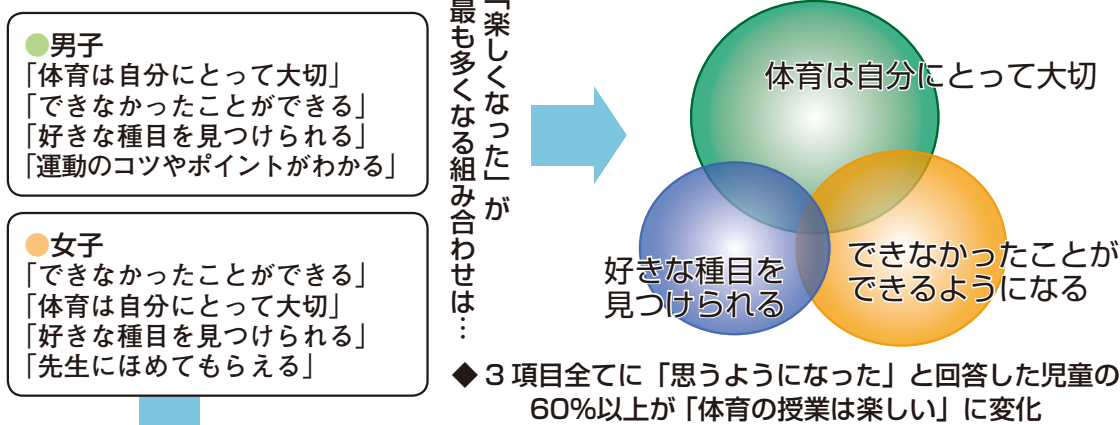
これらの結果から、体育の授業では、運動やスポーツに苦手意識を持っている児童や、女子に焦点を当て、有能感を高める、または、低下させない指導を一層推進していくことが必要であるといえることができる。具体的には、うまくなるコツや練習方法をわかりやすく提示し、意欲的に練習に取り組みめるようにしたり、スモールステップを提示し、「できた」実績を積み重ねていけるようにしたりすること等が効果的であろう。

一方、運動やスポーツが好き（好きだった）かどうかについての変化では、入学前から現在までずっと運動やスポーツが好きな児童は、男子では78.3%、女子では68.4%みられた。あわせて、ずっときらいな児童は、男子では3.4%、女子では6.3%だった。特筆すべきは、「好きだった（ことはある）が、今はきらい」の回答をした児童が、男子では5.5%、女子では2倍以上の12.5%いることである。

この結果を踏まえて、授業においては、運動に苦手意識を抱いている児童に対して特に個に応じた指導を行うことや、運動に積極的に取り組もうとしない児童に対して、やさしい活動を設定したり、教員や仲間からの称賛やほめまじしを意図的に増やしたりする等の工夫が必要であろう。

●「体育の授業が楽しい」と変化するきっかけを探る

「体育の授業が楽しくない」から「楽しい」に変化した児童は、他の体育の授業に対する質問項目への回答がどのように変化したかをみると、男女それぞれ以下の項目で「思わない」から「思う」に変化している児童が多かった。



授業改善の視点

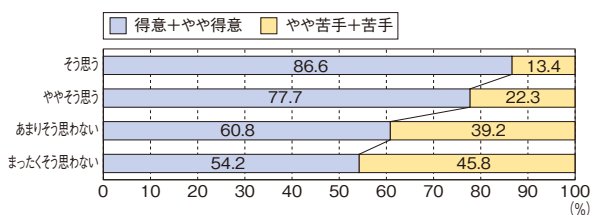
- 授業で「できるようになる」実感をもたせる指導の工夫が大切
- 生涯にわたるスポーツ実践や健康の保持増進、体力の向上などが自分にとって重要なことであることが理解できるようにする授業づくりが大切
- より多くの種目のもつ楽しさに触れさせることができるような指導の工夫が大切

●教員の関わりは、体育の授業に対する意識を好転的に

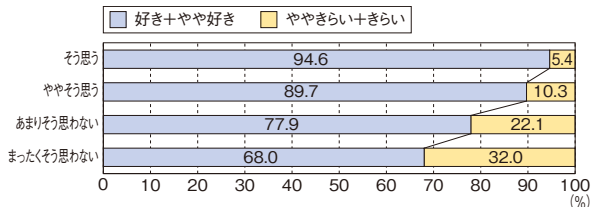
「先生にほめてもらえる」、「先生にいていねいに教えてもらえる」と感じている児童の80%以上が、運動やスポーツをすることが「得意」、「好き」、体育の授業は「楽しい」と回答した。児童にとって、教員からはげましや熱心な指導は、運動についての有能感を高めるとともに、運動やスポーツを好きにしたり、学習への意欲を高めたりする効果があると考えられる。

〈1〉「先生にほめてもらえる」

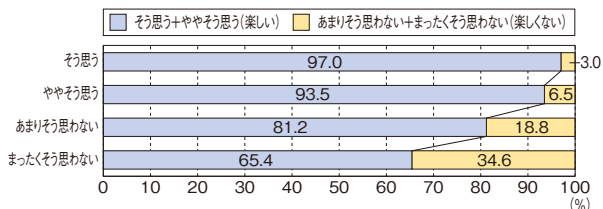
○「運動やスポーツをすることが得意」との関連



○「運動やスポーツをすることが好き」との関連

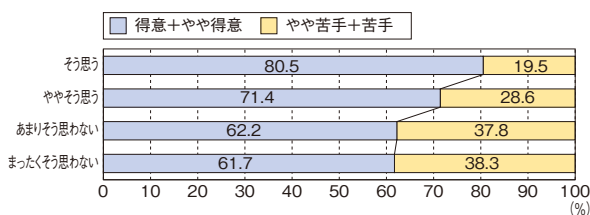


○「運動やスポーツをすることが楽しい」との関連

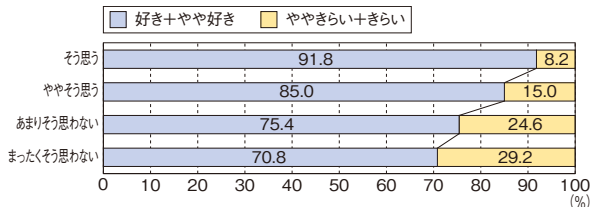


〈2〉「先生にいていねいに教えてもらえる」

○「運動やスポーツをすることが得意」との関連



○「運動やスポーツをすることが好き」との関連



○「運動やスポーツをすることが楽しい」との関連

